

青 総 政 号 外
令和 8 年 7 月 1 7 日

報道機関各位

青森県総合政策部総合政策課長
(公 印 省 略)

「令和 8 年全国知事会議 in とっとり」における宮下知事の発言について

昨日から開催されている全国知事会議では、本日、「原子力発電の安全対策及び防災対策に対する提言（案）」等 13 の議題について協議しました。

そのうち、宮下知事からは、以下の提言等について発言がありましたので、発言内容について別紙のとおりお知らせします。

また、「令和 8 年全国知事会議 in とっとり」を終えての知事所感についても併せてお知らせします。

- ・ 議題 25 原子力発電所の安全対策及び防災対策に対する提言（案）
- ・ 知事フリートーク 意見交換（青の煌めきあおもり国スポ・障スポ関係）

【会場の様子】



報道機関用提供資料（連絡先）	
担当課・ 担当者名	総合政策課 総合調整グループ 副参事（GM）松橋 稔
電話番号	内線 2312 直通 017-734-9136
E-mail	sousei@pref.aomori.lg.jp
報道監	総合政策部次長 田澤 謙吾

別紙

【宮下知事の発言概要】

議題 2 5 原子力発電所の安全対策及び防災対策に対する提言（案）

- ・現在、青森県内には、全国で使用された電気由来の高レベル放射性廃棄物である2,176本のガラス固化体が保管されている。貯蔵管理センターを立地した際に、30年から50年間の一時貯蔵の後、県外へ搬出する約束で受け入れた。
- ・搬出期限も残すところ19年となっており、全国で最終処分地が選定・操業されていないことが、今後、再処理工場が操業を開始する中で重要な論点になってくる。
- ・昨年の青森開催の知事会において、各都道府県知事に対して最終処分地選定に関して、各市町村が手上げた際に反対という結論ありきではなく、地域の判断や対話を前提にして、最終的な政策判断・政治判断をしていただきたいとお願いした。
- ・その後、赤澤経済産業大臣から各都道府県知事に対する本件についてのレター発出や、国主導での申入れとして、東京都南鳥島での文献調査開始などにつながっている。
- ・今後も、文献調査の対象範囲は広がっていくことになるが、この選定のプロセスは、文献調査、概要調査、精密調査と段階的に進んでいくものであり、少なくとも文献調査については、単なる机上調査である。概要調査、精密調査等のプロセスの進展の際には地域の意見が反映される仕組みとなっているため、当初から反対ありきではない対応を知事の皆様にはお願いしたい。
- ・また、知事会の提言では、「国として更に一步前に出て全国的な理解活動に取り組み、選定については、国の責任において着実に進めること」とあるが、国が最終処分場にしないと言っている青森県以外の、すべての都道府県が対象となるため、ぜひ当事者意識を持って、このことについて認識いただきたい。

知事フリートークにおける発言

- ・本年10月に青森県で国民スポーツ大会、障害者スポーツ大会（青の煌めきあおもり国スポ・障スポ）が開催される。ぜひ知事の皆さんにもお越しいただきたい。
- ・国スポは熱い大会を目指し、障スポは、熱戦はもちろんだが、アットホームな大会にしていきたい。
- ・できれば国スポに当たっては、次の幹事県の皆さんとの意見交換の場面、知事の皆さんとの意見交換の場面も設けたいと思っている。また、障スポは今年から、入場行進に知事の皆さんにも参加していただけるようになった。障がい者の皆さんや関係者の皆さんを激励する上でも、非常にいい機会になると思うので、ぜひ今からでも、ご参加を考えていただきたい。

【「令和8年全国知事会議 in とっとり」の知事所感】

県民対話集会「＃あおばな」をはじめ、県民の皆様からいただいた声や本県が直面する課題を県民目線で発言したほか、全国の知事に対し、本県の課題について、当事者意識を持つよう訴えられたことは、大きな意義があったと考えています。

また、各分野での他の都道府県の優良事例を共有でき、本県での施策を進める機会ともなりました。今後は、鳥取宣言や取りまとめられた国への提言をもとに連携を深め、青森新時代、そして新しい日本づくりに取り組みます。